

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2018年秋の便り号 (通算第39号)
 自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
 事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
 ホームページは「[亀井たくま](#)」で検索をお願いします！ メール DQG06110@nifty.ne.jp



市民の安心・安全のための相談事業の充実を！ 犬猫殺処分ゼロを継続し、動物愛護先進都市へ！

市民の皆様、こんにちは！いつも市政へのご理解とご協力をありがとうございます。平成30年9月定例議会は、9月6日～10月4日の日程で開催され、亀井たくまは決算審査特別委員会での質疑とともに10月3日に30回目の一般質問に登壇いたしました。質問・答弁の内容を抜粋・要約してご報告申し上げます。(市議会ホームページで録画放映がご覧いただけます)
 また、今回の議会では、市民の皆様のご関心の高かった「小中学校へのエアコン設置」も決定されました。これまで多くのご意見をいただき、ありがとうございました。皆様のおかけをもちまして、2期8年間の議会活動も残すところ、4か月となりましたが、これからも「雑草魂」で初心を忘れずに、研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます！

市民の安心・安全に寄り添う市民サービスの向上について

- Q 多重債務(借金)に陥っている方々への早期支援による生活再建を。
 A 月2回、弁護士による「多重債務者特別相談」を実施している。多重債務に陥っている市民を把握した場合には、速やかに消費生活センターを紹介・誘導するなど、庁内で協体制の強化を図っている。
- Q 特殊詐欺や高齢者詐欺が心配だ。最近では、地震や大雨等の災害時に便乗した悪質商法が発生すると聞くが、本市における状況と対策は。
 A 「火災保険を利用すれば自己負担なしで屋根が修理できる」などと言って騙す手口などがあり、本市では昨年度、18件の相談が寄せられている。相談事例と対処方法などをまとめた啓発チラシや、安心・安全メールを活用して市民へ注意を促している。
- Q 「消費生活相談」の現状は。相談の解決に向けたさらなる取り組みは。
 A 29年度の消費生活センターへの相談件数は6790件でほぼ前年と同数であった。しかし、60歳以上の相談は2802件(全体の41%)と前年より222件増加している。解決にむけては、専門相談員が相談者へ「助言」を行い、解決困難な事例へは「あっせん」を行っている。
- Q 高齢化を迎え、相談者自身では解決が困難なケースも増えている。市民を助けるために、アドバイスだけの「助言」ではなく、事業者との間に入って交渉してくれる「あっせん」に積極的に取り組むべきでは。
 A 的確な助言等により、消費者が事業者と対等に交渉できるようになることを目指しつつ、被害救済に向けた交渉が円滑に行われるように、個々の事情や必要性に応じて、「あっせん」に取り組んでまいりたい。
- Q 「消費者被害の救済」のための今後の取り組みの充実を。
 A 消費者トラブルを食い止めるため、消費者教育の強化など、より一層の普及啓発に努めてまいりたい。
- Q 市で行っている「法律相談」は「20分では短い」との市民の声も聞くが、解決状況や市民の満足度は。
 A 相談終了時の利用者アンケートでは8割以上が「役に立った」と回答しており、一定の役割を果たしていると考えている。時間については多くの市民が利用できるよう、20分としているが、相談申込時に市職員が概要を伺い、適切な相談窓口を案内したり、アドバイスを行っている。



- Q 高齢化が進む中で、「終活への支援」が必要だ。「終活支援」の取り組みは。
 A 今年1月から、あんしんケアセンターにおいて「終活支援」を開始し、6月までにエンディングノートや葬儀、生前整理、相続、遺言に関することなど128件の相談があった。また、民間事業者と提携し、終活に関する講演会を9回実施している。今後もあんしんケアセンターが、終活相談も含めて、高齢者の身近な相談場所となるよう、相談支援体制強化を図ってまいりたい。
- Q 市では、さまざまな分野の相談業務を実施しているが、今後の充実は。
 A 社会情勢の変化に伴い、市の相談業務に対するニーズは多様化・複雑化していると認識している。相談事業のあり方について研究し、相談者が利用しやすいものとなるよう改善してまいりたい。

亀井はこう考える！市民の困りごと・悩みごとに寄り添う相談事業を！

市民のさまざまな困りごとや悩みに早期に寄り添い、支援をすることは、身近な行政や私たち議員の責務であると考えています。私もさまざまな市民相談に携わってきましたが、地域社会には実に多くの課題・悩みが横たわっていることを身をもって実感してきた次第です。今回の議会では、「多重債務者への支援」「詐欺や消費被害への支援」「法律相談等の相談事業の充実」など、市で行っている各種相談窓口・相談体制の充実を求めました。

- 「詐欺や消費被害への支援」・・・全国的にも高齢者を狙った振り込め詐欺の被害はとどまるところを知らず、詐欺の手法も巧妙化しています。新たな詐欺や悪質商法への早期対応を求めました。また、市民が消費トラブルに巻き込まれたとき、「消費生活センター」が相談対応にあたっていますが、センターでは相談があった場合に、相談者への「助言」と「あっせん」を行っています。アドバイスだけの「助言」よりも丁寧な支援である「あっせん」(センターが事業者と直接交渉)については、本市の実施状況は5・6%(県平均7・3%、全国平均8・8%)とやや低い状況です。高齢化を迎え、相談者自らが解決することが困難なケースも増加することから、より丁寧な支援である「あっせん」のさらなる推進を求めるとともに、「消費者被害の救済」のための取り組みの充実を求めました。
- 「法律相談など身近な市民相談事業の充実」・・・市では各種の相談事業を行っています。市民の利用促進や課題解決の促進のための提言を行いました。現在、各区役所で実施している法律相談の利用率は86・5%と高い状況ですが、「解決に役立っているか」「20分という時間は十分なのか」「事前に市としてできる支援はないか」など、さらなる充実に向けて議論を行いました。

また、高齢化が進む中で需要が高まっているのが、「終活への支援」です。市では、1月から終活支援の取り組みをスタートさせていますが、生前整理、相続、遺言に関しては、多くの市民の悩み事として需要があると考えます。市民が困りごとに直面したときに、すぐに相談できる体制の強化を求めました。

動物愛護の推進について

- Q 平成29年度、千葉市の犬・猫の殺処分数は。新たな飼い主等への譲渡につながった数は。
 A 平成27年度から犬猫ともに殺処分は0を継続している。譲渡数は29年度、犬は68頭、猫は296匹であった。
- Q 新たな飼い主への譲渡の促進を。以前に提案した「譲渡会の土日開催」を実施したことを評価するが、取り組んだ成果は。譲渡会のさらなる拡充を。
 A 6月に初めて土曜日の譲渡会を開催し、家族連れなど30名の来所があり、譲渡予定の9匹の猫がすべて譲渡できた。今後の開催方法を検討してまいりたい。
- Q この夏の酷暑により、7月に市動物保護指導センターに収容された犬が熱中症で死亡したが、対応は適切であったのか。以前から「動物の収容環境の改善」を求めてきたが、エアコンの設置をすべきでないか。
 A 収容後、センターや民間病院でできる限りの治療を行ったが、結果として死亡に至ったことは残念なことと考えている。エアコン設置は、建物の改修など多額の費用を要することから、現状では困難である。
- Q 今後も動物たちが熱中症になる、動物が予想される。エアコンをつけられないのであれば他の環境改善を。
 A 夏場は扇風機の稼働やジェルシートの設置など、収容動物の体温管理に努めている。火災予防の観点から、夜間は扇風機を停止してきたが、熱中症対策として、夜間の扇風機の稼働を検討してまいりたい。
- Q 収容環境の抜本的改善には、老朽化したセンターの建て替えが必要だ。新たなセンター建設の検討状況は。
 A 動物愛護の普及啓発のための拠点施設として、2020年度末までに基本方針を策定する。今後、先進自治体を調査し、施設のあり方などを検討してまいりたい。
- Q 以前の議会で提案した「ふるさと納税による動物愛護施策の充実」の実現を評価するが、ふるさと納税の

数	平成年度											
	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	
犬	センターでの死亡数	272	161	62	38	24	20	4	3	1	2	1
	うち、殺処分数	不明	不明	不明	27	15	11	1	0	0	0	0
猫	センターでの死亡数	1111	1027	757	560	304	349	236	57	68	51	65
	うち、殺処分数	不明	不明	不明	258	92	127	143	1	0	0	0

- 寄付状況は。ふるさと納税を活用してのエアコン設置や施設環境改善を。寄付推進のための周知・工夫を。
 A 29年度から、ふるさと納税のメニューに「動物愛護の推進」を追加し、これまで24名から74万円の寄付があった。エアコン設置や環境改善は、まだ金額的に難しいと考えている。チラシ、ホームページで周知を取り組んできたが、今年度は新たにポスターを作成した。今後も周知・啓発に努めてまいりたい。
- Q 収容されてきた負傷・病気の犬猫は、ボランティア団体が自腹で民間医療を受けさせている状況がある。ふるさと納税を活用して医療費の補助、愛護団体への支援を。
 A 外部の民間医療機関の受診は治療費が高額となるため、現在は実施していないが、実施している他の自治体の状況を調査・研究していく。
- Q イノシシなどの鳥獣被害対策で、捕獲してただ殺処分している現状がある。「ただ殺処分されるだけの命」というのは可哀想ではないか。ただ殺処分するのではなく、その命を活かす意味でも、食べるなど活用を。
 A 食用として活用するためには、速やかに処理加工施設に搬入する必要があるが、市内及び周辺地域に施設がないために活用できていない現状にある。今後、他市の先行事例を参考に、食肉利用について研究してまいりたい。
- Q 地域猫活動やTNR活動になる地域や町内自治会の理解が薄い現状がある。理解促進の取り組み推進を。地域猫活動が進んでいる地区では、着実に効果が現れていることをもっと具体的に周知すべきでは。
 A 「地域猫セミナー」や出前講座の実施や、28年度からは地域猫活動の啓発チラシを各自治会へ配布している。23年度からの野良猫の不妊手術事業推進により、野良猫の収容や市民からの苦情は大きく減少していることから、ボランティアの方々や協力して作成した地域猫活動の理解促進パンフレットを今後も配布し、理解を広げていきたい。
- Q 多頭飼育や虐待の早期対応のため、行政全体で動物愛護の理解を。ボランティアとさらなる連携・協働を。
 A 市民の理解を推進していくためにも、公園や市営住宅など公共施設を管理する部署とさらなる連携をはかっていく。3年連続で犬・猫の殺処分数を回避できたことはボランティアのご協力・ご尽力のおかげと認識している。今後も協働し、人と動物との共生を目指していく。



【猫の保護活動中です。】

亀井はこう考える！人と動物との共生社会の実現へ！！

犬猫殺処分ゼロを目指して、当選以来、取り組んでいるテーマです。本市では、27年度より、犬猫ともに殺処分はゼロとなり、現在も継続中です。これは愛護活動に取り組むボランティア・行政・市民の皆様のご協働の賜物と理解しています。しかし、ゼロは達成したとはいえ、不幸な野良犬・野良猫は地域ではまだまだ多く存在しており、心を痛める市民からの相談も多く頂戴しています。殺処分ゼロ継続は当然のこと、地域における不幸な犬・猫を1匹でも減らすため、多くも質問・提案を行いました。

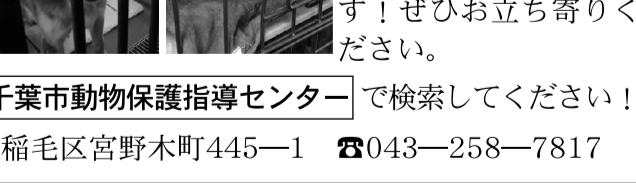
- 「市動物指導センターの環境改善について」・・・今夏、千葉市動物保護指導センターに収容された犬が熱中症により、命を落としました。現在、センター内の犬猫の収容棟は窓もエアコンもなく、夏場には室温が40度を超えるなど、動物たちにとって(働く職員にとっても)劣悪な環境です。これはこれまで収容棟の環境改善を再三求めてきましたが、抜本的な改善がされなく、今回の出来事が起こった。収容環境の改善を再3求めましたが、早期の環境改善を強く求めました。また、「動物愛護推進のための新たな施設」の早期設置も再度求めました。
- 「ふるさと納税の活用による動物愛護推進」・・・以前の議会質問での提案により、ふるさと納税の寄付金による動物愛護施策推進が実現しましたが、まだまだ金額は少ない状況です。他市では、多くの寄付を集めて、動物愛護施策を充実させている自治体もあることから、積極的な周知・PRや寄付の具体的な目的・目標の設定を求めました。
- 「イノシシ・サルなどの野生動物への対応」・・・昨今、イノシシやサル等の野生動物が街中に現れたり、農作物を荒らしたりということが市内でも発生しています。山へ追い払うことを中心とした取り組みや出没时间の市民の安全対策を求めるとともに、捕獲・殺処分をしなければならない場合には、「いのちを大切に」という意味で、ただ無駄に殺処分するのではなく、食用として活用するなどの対応を求めました。
- 「地域猫活動への理解促進」・・・地域猫活動に対する市民の皆様のご理解も進んでいますが、地域や自治会における認識や理解が薄い現状があるとの指摘があります。地域猫活動によって、野良猫の数が適正に管理され、猫に関連する問題が減り、好きな人・嫌いな人双方のためになっている地区がある一方で、地域猫活動の賛否をめぐって、対応が遅れる中で、さらに野良猫が増えて問題が悪化している地域もあります。各地区でボランティアの方々や手弁当・持ち出しで保護活動や地域猫活動をしておられます。ご理解・ご協力とともに、愛護ボランティアや市センターとの協働をよろしくお願いいたします！

皆様の声の実現！ ～あの質問・提案はどうなった？①～

猫の譲渡会の土日開催が実現！

これまで平日のみに開催されていた市動物保護指導センターの猫の譲渡会について、「土日開催」を求めて質問・提案を続けてきましたが、本年6月から初めて土曜日の譲渡会を開催がスタートしました。犬の譲渡会開催も求めていきます。

犬や猫の命を救ってください！



市動物保護指導センターでは、収容された犬や猫たちが新しい飼い主さんを待っています！ぜひお立ち寄りください。
 千葉市動物保護指導センターで検索してください！
 稲毛区宮野木町445-1 ☎043-258-7817

日々精進の記録！ ～写真で見える活動記録～

今後も奉仕の心で、地域のために！

今年度、会長を務めている千葉ライオンズクラブでは、日頃より地域貢献活動に取り組んでいます。このたびは結成55周年を迎え、以下の支援活動を行います。市内の各ライオンズクラブへのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

- 千葉市のこどもたちの救命救急講習のための「心肺蘇生訓練人形10体」の贈呈 ●千葉市の犬猫殺処分4周年記念の集い



【熊谷市長へ訓練人形を贈呈】

ゼロを目指しての動物愛護団体への活動支援 ●千葉市立千葉高校吹奏楽部への活動支援 ●網膜色素変性症協会への支援 ●アイバンク協会への支援 ●カンボジアにおける学校建設への支援

市政へのご意見へ

TEL/FAX 043-255-8108
 携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！お手紙も大歓迎です！
 ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>
 メール DQG06110@nifty.ne.jp

フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています！ 亀井たくま でご検索ください！

亀井たくま(38歳)、日々修行中です！！

- ・行政書士・社会福祉士
- ・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士
- ・防災士・ホームヘルパー2級
- 議会の仕事
- ・都市計画・オリパラ調査特別委員会委員長
- ・地方建設委員会委員
- ・廃棄物減量等推進審議会委員
- 趣味
- ・明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。
- ・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎。(地域で演奏・茶話会のボランティアができます)
- ・NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！
 ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。
 郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました！